marantz®

CD Player

CD6003

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

警　告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜く

- 本機の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落し込んだり、水を入れないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにしてください。電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

接触禁止

- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 本機に付属している電源コードのみ使用してください。他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。電流容量などの違いにより火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

- 風呂場や窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

警　告

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみです。電源周波数は 50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- 本機の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
  - 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
  - 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
  - 本機の上に物を置く。
- 本機の上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。
- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- エアコンの下に置かないでください。エアコンから水滴が滴下した場合、汚損・故障・火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 本機の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

注　意

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

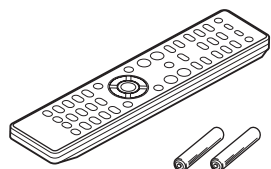
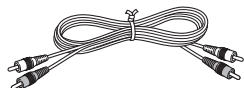
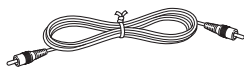
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所や湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所や振動のある所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 次のような異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
  - 窓を閉めきった自動車の中
  - 直射日光が当たる場所
  - 火や暖房器具など熱を発生する機器の近く
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

- 5 年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

この度はマランツ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をご使用いただく前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになった後は、「保証書」とともに大切に保管してください。

付属品の確認

ご使用の前に下記の付属品がそろっていることをご確認ください。

- リモコン……1個

- 電池（単4）……2個
- 電源コード……1本
- オーディオケーブル……1本

- リモートケーブル……1本

- 取扱説明書（本書）……1冊
- 保証書（箱に貼付）……1枚

目次

主な特長

マランツオリジナル HDAM®SA2 採用

本機には上位モデルのスーパーオーディオ CD プレーヤーやアンプで実績のある HDAM®SA2 を高速バッファーアンプとして搭載しました。
クラスを超えたハイスピードで高品位な再生をお楽しみいただけます。

シーラスロジック社製高性能 D/A コンバーター CS4398 を搭載

音質の重要な要素を占める D/A コンバーターには当社のスーパーオーディオ CD プレーヤーに採用し定評のある高精度なシーラスロジック社製 CS4398 を使用しています。

Audio EX 搭載

より高音質でお楽しみいただくために、ピッチコントロール、デジタルアウトおよび表示機能をオフにする設定の Audio EX モードを搭載しました。
（13 ページ参照）

高品位ヘッドホン回路搭載

高速電流バッファーアンプを搭載した高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聞く場合などに高音質で楽しむことができます。

MP3、WMA、AAC ファイル再生に対応

CD-R や CD-RW ディスクに記録した MP3 ファイルや WMA、AAC ファイルを再生することができます。（14 ページ参照）

USB オーディオ（MP3/WMA/AAC/WAV）/ iPod 再生対応

本機では、USB 機器または iPod を USB 端子に接続することにより指定のファイル形式の MP3、WMA、WAV、AAC ファイルの再生が可能です。

ピッチコントロール機能搭載（音楽 CD のみ）

再生スピード（ピッチ）を± 12 段階の範囲で変えることができる「ピッチコントロール機能」を搭載しました。（13 ページ参照）

クイックリプレイ（音楽 CD のみ）

再生中、ワンタッチで任意に設定した時間（設定範囲：5 ～ 60 秒）だけ前に戻って再生する「クイックリプレイ機能」を搭載しました。
再生中の曲を、少し前に戻して聴き直すことができます。（10 ページ参照）

CD-TEXT 表示対応

CD-TEXT とは従来の音楽 CD にアルバム名、曲名などの文字情報を記録した音楽ディスクです。以下のようなロゴが付いた CD が対応しています。

これらの文字情報は、従来の音楽 CD では使用されていなかった部分に記録されています。
本機ではディスクに記録された文字情報を見ることができます。（英数字のみに対応しています。）

ご使用の前に

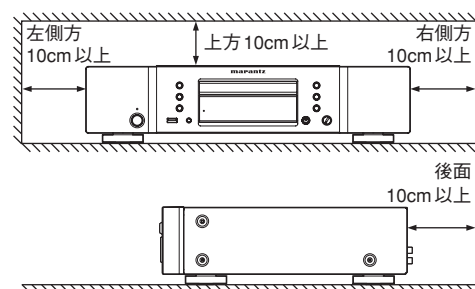
ご使用いただく電源電圧・周波数

- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。

設置についてのご注意

本機を末永くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器に近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所
- アンプ等の発熱の多い機器の上

放熱のため、本機を下図の通りに壁や他の機器等から離して設置してください。

上に物をのせない

本機の上に物をのせて放熱を妨げると、事故や故障の原因になります。

使用上の注意

- 冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。本機は、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。
  - 暖房開始直後の部屋
  - 湿気が多い部屋
  - 寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだとき

  このようなときは、曲数の読み込みができず、プレーヤーが誤動作することがありますので、30 分位待ってから使用してください。
- アンプ等の発熱の多いものの上に直接置いた場合、レーザー等の劣化の原因になります。
- 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
- アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、再生がはじまるまでノイズは殆ど聴き取れません。

  アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。
- パソコン用の CD-ROM や、ゲーム CD、ビデオ CD、DVD（ビデオ／オーディオ）、DTS-CD などは再生できません。
- 市販されているレンズクリーナーは、レンズを破損させる恐れがありますのでご使用にならないでください。
- ガラスドアつきのラックでご使用の場合、ガラスドアを閉めたまま、リモコンの ▲OPEN/CLOSE ボタンを押し、ディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

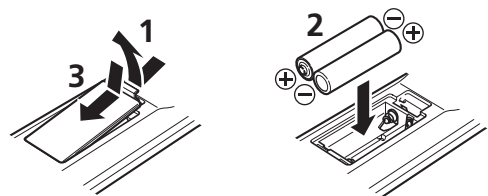
リモコンの使用について

リモコンに電池を入れる

付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに電池を入れてください。
付属の電池はリモコンの動作確認用です。

1. 電池カバーをはずします。

2. 電池を極性表示（⊕プラスと ⊖マイナス）に注意し、表示通りに正しく装着します。

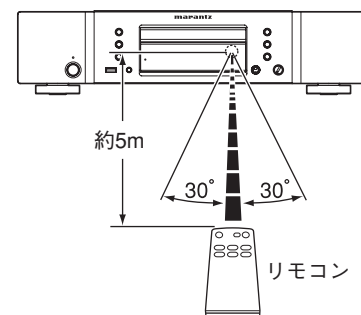
3. 電池カバーを元に戻します。

電池の取扱いについて

電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 電池のプラス ⊕とマイナス ⊖の向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、指定以外の電池は使用しないでください。 また、新しい電池と古い電池を混ぜたり、種類の違う電池を混ぜたりして使用しないでください。
- 電池は充電しないでください。
- 電池はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師の診断を受けてください。
- 電池は金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しない時は、電池の液もれを防ぐために電池を取り出しておいてください。もし、電池が液もれを起こした時は、素手で液にさわらずに、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷するおそれがありますので、取扱いには十分ご注意ください。誤って液が付着してしまった場合は、ただちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

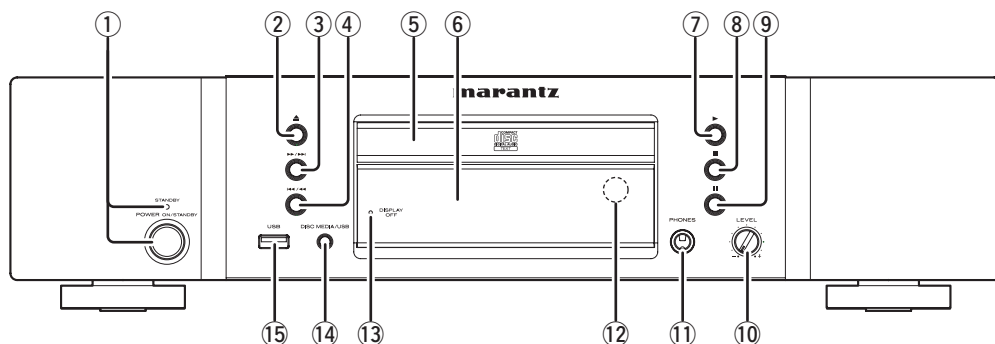
> - 不要になった電池を廃棄する場合は、テープなどで絶縁をし、お住まいの地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
> - 電池は火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車内、熱器具の近くなど高温の場所に置かないでください。

リモコンの動作範囲

リモコンによる本機の操作可能範囲は下図のとおりです。

使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。 リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で操作する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称

前面

① POWER ON/STANDBY スイッチ STANDBY インジケーター
電源のON とSTANDBY（待機状態）を切替えます。
7 ページ参照

② ≙ ボタン
7 ページ参照

③ ►►/►►I ボタン
7 ページ参照

④ I◄◄/◄◄ ボタン
7 ページ参照

⑤ ディスクトレイ
ディスクをのせるトレイです。7 ページ参照

⑥ 表示部

⑦ ► ボタン
7 ページ参照

⑧ ■ ボタン
7 ページ参照

⑨ II ボタン
7 ページ参照

⑩ LEVEL つまみ
ヘッドホンの音量を調整するつまみです。右に回すとヘッドホンの音量が大きくなります。

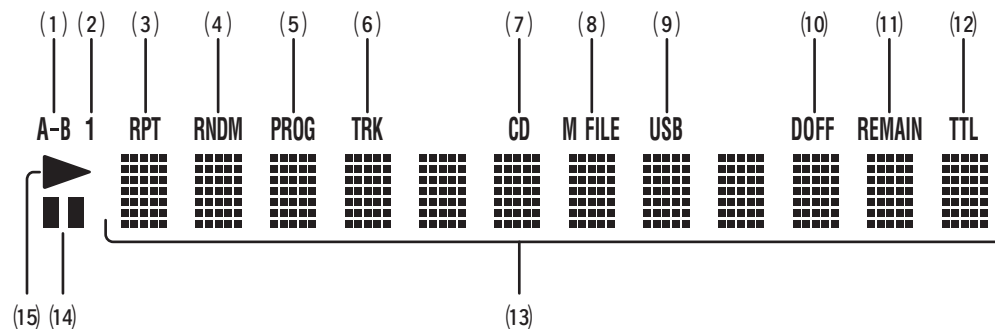
⑪ PHONES 端子
ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは標準プラグのものをご使用ください。

⑫ 赤外線受光部
リモコンからの赤外線コントロール信号を受光します。

⑬ DISPLAY OFF インジケーター
5 ページ参照

⑭ DISC MEDIA / USB ボタン
16 ページ参照

⑮ USB 端子
8、16 ページ参照

表示部

(1) A-B インジケーター
A-B リピート再生時に点灯します。

(2) 1 インジケーター
1 曲リピート再生時に点灯します。

(3) RPT インジケーター
リピート再生時に点灯します。

(4) RNDM インジケーター
ランダム再生時に点灯します。

(5) PROG インジケーター
プログラム再生時に点灯します。

(6) TRK インジケーター
再生中の曲番（トラックナンバー）などの表示の上に点灯します。

(7) CD インジケーター
ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。（オーディオ CD）

(8) M FILE インジケーター
ディスクトレイ内のディスクの種類を表示します。（WMA/MP3/AAC）

(9) USB インジケーター
USB/iPod モードで動作しているときに点灯します。

(10) D OFF インジケーター
オーディオ CD 信号のデジタル出力設定が OFF に設定されているときに点灯します。
13 ページ参照

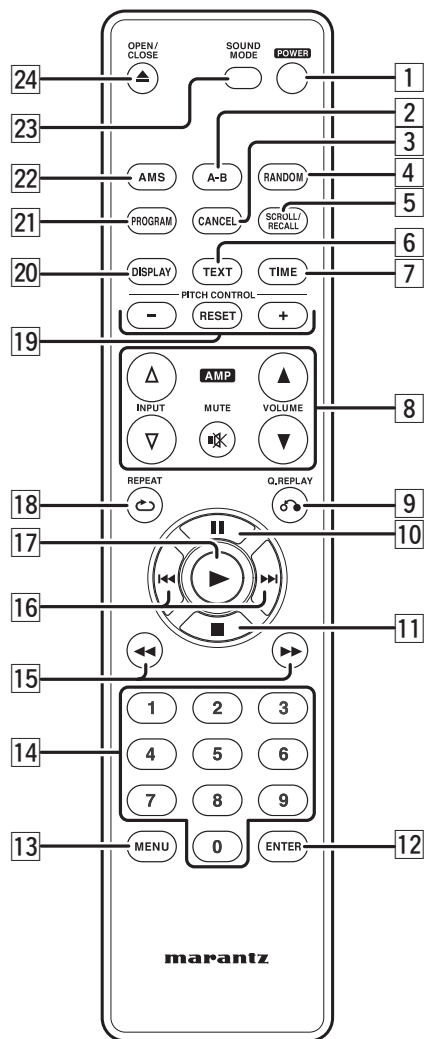
(11) REMAIN インジケーター
トラックの残り再生時間を表示すると、その上に点灯します。

(12) TTL インジケーター
総残り時間や、総プログラム時間を表示すると、その上に点灯します。

(13) メイン表示部
再生するディスクの時間表示、文字情報、設定メニューなどを表示します。

(14) II インジケーター
一時停止時に点灯します。

(15) ► インジケーター
再生時に点灯します。

リモコン

1 POWER ボタン

電源のON とSTANDBY（待機状態）を切替えます。
7 ページ参照

2 A-B ボタン

指定した部分を繰り返し再生するときに、開始（A）点と終了（B）点を指定するボタンです。
9、15 ページ参照

3 CANCEL ボタン

プログラムした曲を取り消すボタンです。
11、12、19 ページ参照

4 RANDOM ボタン

順不同で曲を再生するボタンです。
10 ページ参照

5 SCROLL/RECALL ボタン

テキストを表示しているときに、テキスト表示をスクロールするボタンです。
プログラム再生時に押すと、プログラムした曲を確認できます。12 ページ参照

6 TEXT ボタン

メイン表示部を時間表示からテキスト表示に変えるボタンです。12、14 ページ参照

7 TIME ボタン

メイン表示部をテキスト表示から時間表示に切替えるボタンです。
再生中の時間表示を切替えることもできます。
9 ページ参照

CD：

トラック内での経過時間、残り時間、ディスク全体での残り時間を表示できます。

MP3 ／ WMA ／ AAC：

ファイルの経過時間、残り時間を表示できます。

8 VOLUME ▲/▼ ボタン INPUT△/▽ ボタン MUTE ボタン

マランツ製プリメインアンプの対応機種の操作を行うことができます。各機能については、プリメインアンプの取扱説明書をご覧ください。

9 Q. REPLAY ボタン

現在再生している位置から設定した時間だけ戻って、再生を再開するボタンです。10 ページ参照

10 ⏸ ボタン

7 ページ参照

11 ■ ボタン

7 ページ参照

12 ENTER ボタン

設定内容を決定するボタンです。

13 MENU ボタン

設定項目を表示するボタンです。

14 数字ボタン

7 ページ参照

15 ◀◀、▶▶ ボタン

7 ページ参照

16 |◀◀、▶▶| ボタン

7 ページ参照

17 ▶ ボタン

7 ページ参照

18 REPEAT ボタン

1 曲またはディスクの全曲を繰り返し再生するボタンです。9、15、17 ページ参照

19 ＋、RESET、－ボタン

再生スピード（ピッチ）を調整（± 12 段階）するボタンです。（音楽 CD のみ）13 ページ参照
また、MP3・WMA・AAC のフォルダを選択するボタンです。14 ページ参照
USB のフォルダサーチや iPod にてアルバムの選択のときに使用します。

20 DISPLAY ボタン

表示窓の点灯、消灯を切替えます。
1 回押す度に表示が暗くなり、3 回目で表示が消えて DISPLAY OFF インジケーターが点灯します。
電源を切っても最後に設定した状態が保持されます。

21 PROGRAM ボタン

プログラム再生をするときに押すボタンです。
11 ページ参照

22 AMS ボタン

1 曲目から順番に全曲の各冒頭を設定した時間だけ次々に再生するときに押すボタンです。
10 ページ参照

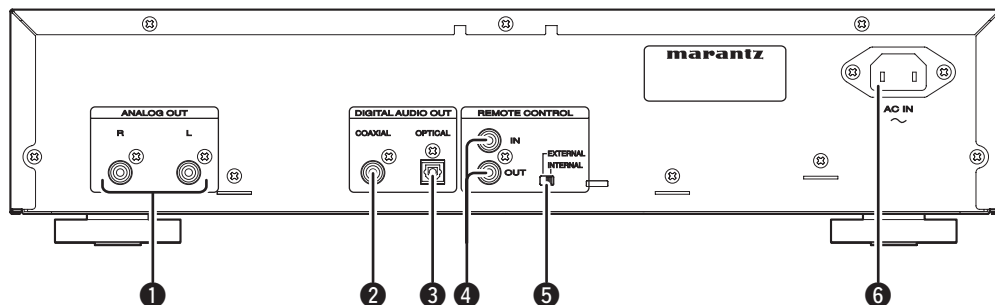
23 SOUND MODE ボタン

Audio EX モードの選択（13 ページ）およびピッチコントロールを使用する（13 ページ）設定に切り替えるボタンです。

24 ⏏ ボタン

7 ページ参照

各部の名称

後面

❶ ANALOG OUT 端子

再生中の音楽信号を出力する端子です。

❷ DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL 端子

再生中の音楽信号をデジタル出力する同軸出力端子です。

ご注意

デジタル信号が出力されない設定があります。詳しくは 13 ページの"デジタル出力をオフにする"と"Audio EX を切り替える"を参照してください。

❸ DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL 端子

再生中の音楽信号をデジタル出力する光出力端子です。

ご注意

デジタル信号が出力されない設定があります。詳しくは 13 ページの"デジタル出力をオフにする"と"Audio EX を切り替える"を参照してください。

❹ REMOTE CONTROL IN ／ OUT 端子

当社製品でリモートコントロール端子を装備した機種と、付属のリモート接続ケーブルで接続する端子です。アンプなどを中心としたシステムコントロールが可能となります。

❺ EXTERNAL ／ INTERNAL スイッチ

スイッチはお買い上げ時 INTERNAL に設定されていて、本機に内蔵されているリモコン信号受光部を使用できます。
当社製品と付属の接続ケーブルでリモートコントロール端子に接続する場合は、スイッチを EXTERNAL に切り替えて使用します。

ご注意

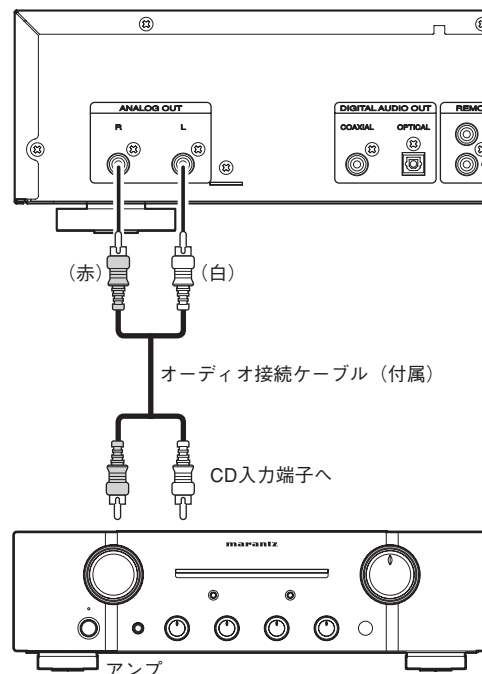
本機を単独で使用する場合、スイッチが EXTERNAL に設定されていると、リモコンからの信号を受信できなくなります。

❻ 電源コード接続端子

付属の電源コードを使用して、ご家庭の電源コンセントに接続してください。

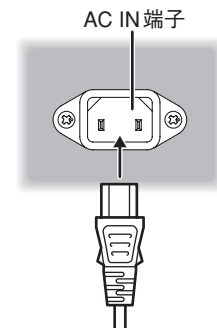
万一の事故防止のため、本機から電源コードが外せる配置にしてください。

基本接続

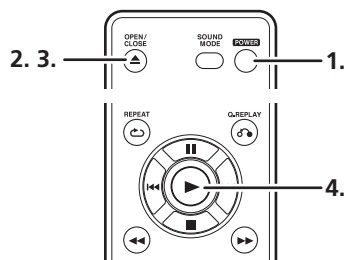
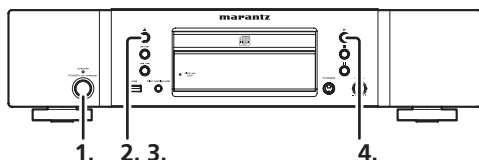
アンプとの接続

ご注意

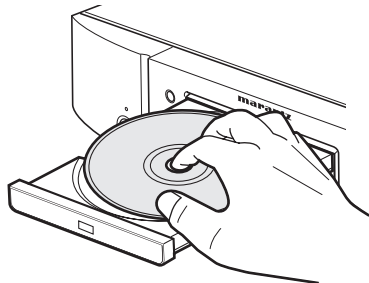
- 全ての接続が完全に終わるまで、本機や他の機器の電源コードを電源コンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルのプラグは確実に接続端子に挿入してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- L（左）チャンネルと R（右）チャンネルを正しく接続してください。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 本機と接続する機器については、機器の取扱説明書を参照してください。
- 接続したケーブルを電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音が発生することがあります。
- アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。

電源コードの接続

1. 付属の電源コードを本機の後面の AC IN 端子に差し込んでください。

2. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
3. 接続したアンプ等のオーディオ機器の電源スイッチを入れてください。その際アンプ等のセレクターを本機と接続した入力に選択してください。

基本操作 －音楽 CD －

CD を再生する

1. 本機またはリモコンの **POWER**ボタンを押し電源を入れます。

2. 本機またはリモコンの ▲ボタンを押します。出てきたディスクトレイに、再生する CDを文字が印刷されているレーベル面を上にしてのせます。

シングル（8cm）CDは、トレイ中央のくぼみに合わせてのせてください。

3. 本機またはリモコンの ▲ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。ディスクトレイが閉まると、表示部に"**TOC Reading**"と表示された後、CDの総曲数と総再生時間を表示します。

ご注意

ディスクトレイは手で押し込まないでください。不良の原因となります。

4. 本機の ►ボタン、またはリモコンの ►ボタンを押すと再生が始まります。
アンプの音量を調整します。

再生を一時停止する

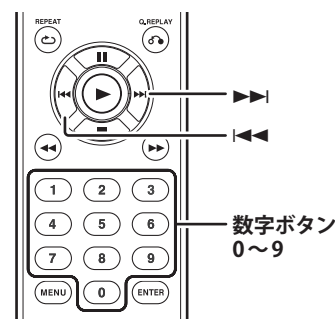
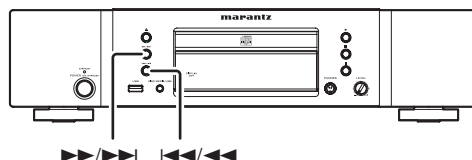
再生中に本機の ❚❚ ボタン、またはリモコンの ❚❚ ボタンを押すと再生が一時停止します。
もう一度本機の ❚❚ ボタンまたは ► ボタンを押すか、リモコンの ❚❚ ボタンまたは ► ボタンを押すと、一時停止した場所から再生を始めます。

再生を止める

再生中に本機またはリモコンの ■ ボタンを押します。

CD を取り出す

再生を止めたあと、本機またはリモコンの ▲ ボタンを押してディスクトレイを開け、CD を取り出します。
取り出したあとはもう一度 ▲ ボタンを押してディスクトレイを閉じます。
本機を使わないときはディスクトレイを必ず閉めておいてください。

聴きたい曲（トラック）を再生する

曲番を指定して再生する（ダイレクトサーチ）

聴きたい曲番（トラックナンバー）をリモコンの数字ボタン（0 ～ 9）を押して、直接選びます。
10 曲目以降の曲番を選ぶときは、10 の位→ 1 の位という順に数字ボタンを押します。
曲番が選ばれると自動的に再生を始めます。

（例）

3 曲目： 数字ボタン"**3**"を押します。
12 曲目： 数字ボタン"**1**" を押します。1.5 秒以内に数字ボタン"**2**"を押します。

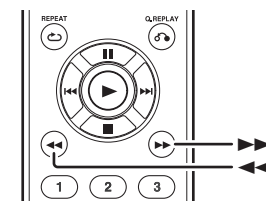
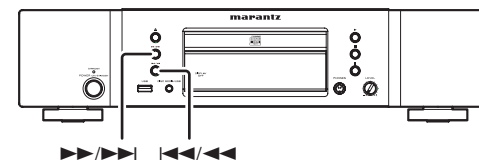
前の曲や次の曲を再生する（トラックスキップ）

次の曲に進む

進めたい曲数分だけ本機の ►►/►►I ボタンまたはリモコンの ►►I ボタンを押します。

再生中の曲の頭または前の曲に戻る

本機の I◄◄/◄◄ ボタンまたはリモコンの I◄◄ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。さらに続けてボタンを押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。

曲の中の聴きたい部分を再生する

曲の中の聴きたい部分を探す（サーチ）

曲を再生中、聴きながら早送り／早戻しをして聴きたい部分を探すことができます。

再生中の曲を早送りする

本機の ►►/►►I ボタンまたはリモコンの ►► ボタンを押しつづけるとサーチ（早送り）になります。

再生中の曲を早戻しする

本機の I◄◄/◄◄ ボタンまたはリモコンの ◄◄ ボタンを押しつづけるとサーチ（早戻し）になります。

応用接続

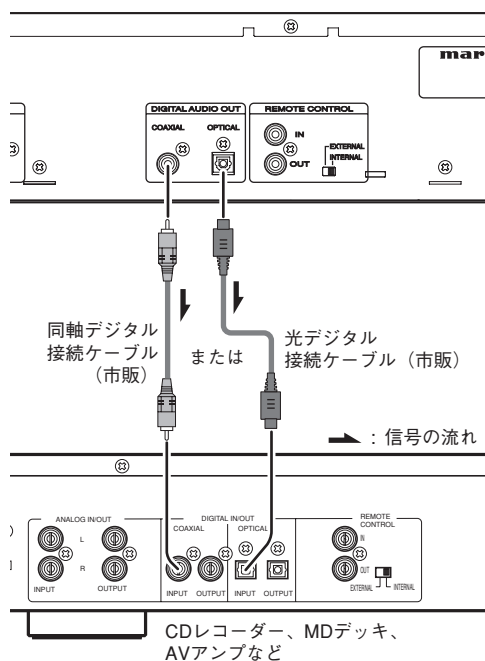
デジタルオーディオ機器との接続

本機はデジタル出力端子をOPTICAL（光）・COAXIAL（同軸）各1系統装備しています。
本機とCDレコーダーなどのデジタル録音機器を接続すると、デジタル録音がお楽しみいただけます。

ご注意

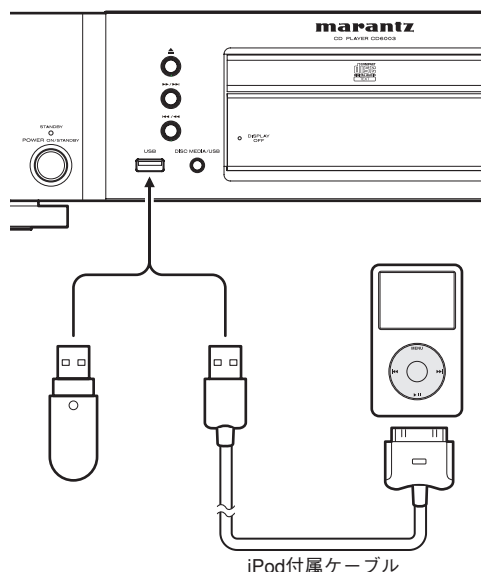
DIGITAL AUDIO OUT端子（OPT.、COAX.）からはオーディオCD再生時のときのみ出力されます。その他メディア再生時のときは出力されません。

OPTICAL（光）／COAXIAL（同軸）出力端子を接続する

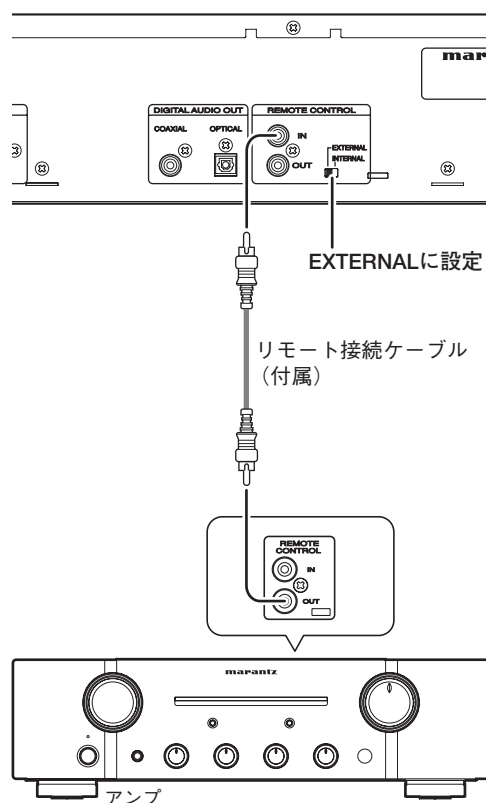
市販の光／同軸デジタル接続ケーブルを使用します。
光デジタル接続ケーブルプラグはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。
また、光デジタル接続ケーブルは折り曲げたり、束ねたりしないでください。

USBメディア／iPodとの接続

USBメディア／iPodを本機と接続します。

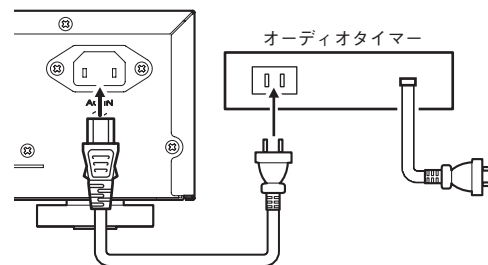
ご注意

- USBメディア／iPodは電源オフ時または入力ソースがUSB以外のときに接続してください。電源オン状態で入力ソースがUSBのときにUSBメモリーを抜き差しするとUSBメモリーが壊れることがあります。
- USBデバイスを使用するときには、USB延長ケーブルを使用しないでください。

リモートコントロール端子

付属のリモートコントロールケーブルを使って、本機を他のマランツ製オーディオ機器に接続すると、システムとして接続した機器をリモートコントロールできます。

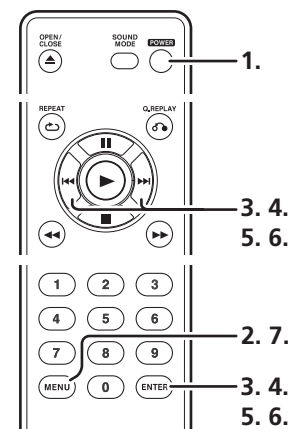
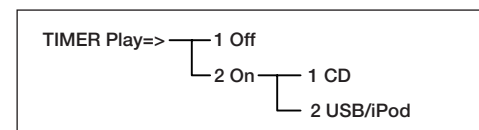
- リモートセンサーを搭載している機器と接続するとき、本機の“REMOTE CONTROL IN”と接続する機器の“REMOTE CONTROL OUT”端子を接続してください。
  このとき、本機のスイッチを“EXTERNAL”に設定してください。本機のリモコン赤外線受光部が動作しなくなり、接続した機器のリモコン赤外線受光部を通して操作することができます。

タイマープレイ

本機では市販の外部オーディオタイマーと連動したタイマープレイができます。
図のように本機の電源コードをオーディオタイマーの電源ソケットに差し込んでください。

- オーディオタイマーへの接続、および操作についてはオーディオタイマーの取扱説明書を参照してください。

タイマープレイの設定

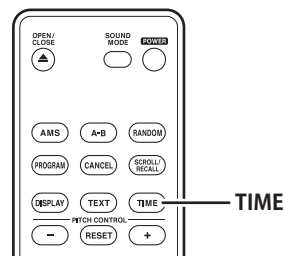
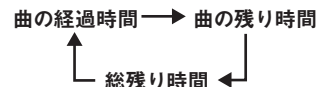
タイマープレイの設定の階層下は以下のとおりです。

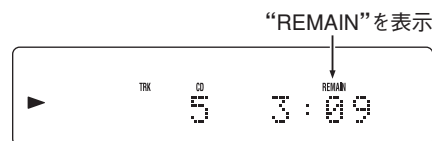
TIMER Play=> 1 Off
2 On — 1 CD
2 USB/iPod

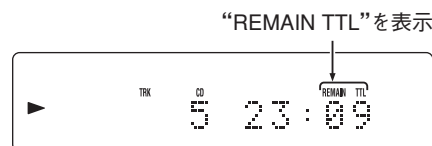
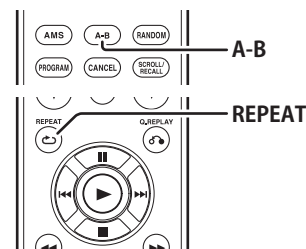
応用操作 －音楽 CD －

1. POWERスイッチを押し、電源を入れます。
2. 停止中にリモコンの **MENU**ボタンを押します。
3. ⏮、⏭ボタンで表示部に“**TIMER Play=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
4. ⏮、⏭ボタンで“**2 On**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
5. ディスクメディアをタイマープレイで再生する場合は、⏮、⏭ボタンで“**1 CD**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
6. USBメディアをタイマープレイで再生する場合は、⏮、⏭ボタンで“**2 USB/iPod**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
   USBメディアを選択した場合、タイマープレイ時に再生する曲を選択することができます。選択方法はUSBメディアの選曲方法（16ページ参照）を参照ください。
7. リモコンの**MENU**ボタンを押し、設定を終了します。
8. ディスクメディアを選択した場合、再生するディスクを本機に挿入します。
9. オーディオタイマーを設定します。

ご注意

- タイマープレイでUSBを選択した場合はあらかじめUSBメディアを本機に接続してください。

時間表示を切替える

リモコンの **TIME** ボタンを押します。
TIME ボタンを押すごとに時間表示は下記の順に変わります。

- **曲の残り時間**
  （再生している所から、その曲の最後までの再生残量時間）

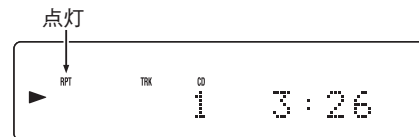
“REMAIN”を表示

- **総残り時間**
  （再生している所から、最後の曲までの総再生残量時間）

“REMAIN TTL”を表示

繰り返し聴く（リピート再生）

全曲を繰り返し聴く（全曲リピート再生）

全曲を繰り返し再生します。ランダム再生やプログラム再生なども繰り返し再生できます。

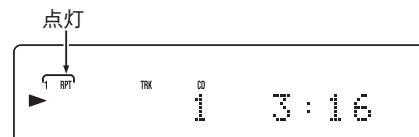
リモコンの **REPEAT** ボタンを押します。
表示窓の“**RPT**”インジケーターが点灯し、全曲を繰り返し再生します。

点灯

全曲リピートをやめて通常再生にするときは、リモコンの **REPEAT** ボタンを 2 回押します。表示窓の“**RPT**”インジケーターが消えます。

1 曲だけを繰り返し聴く（1 曲リピート再生）

1 曲だけを繰り返し再生します。ランダム再生やプログラム再生をしている時も、再生中の曲を繰り返します。

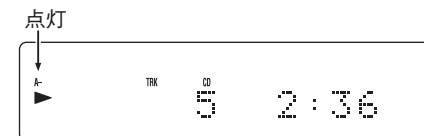
繰り返し聴きたい曲の再生中に、リモコンの **REPEAT** ボタンを 2 回押します。
“**RPT**”、“**1**” インジケーターが点灯し、再生中の曲を繰り返します。

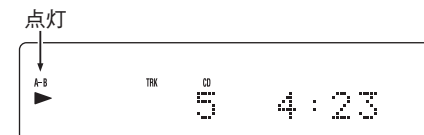
点灯

1 曲リピートをやめて通常再生にするときは、**REPEAT** ボタンを押して表示窓の“**RPT**” インジケーターを消します。

指定した部分を繰り返し聴く（A-B リピート再生）

曲の中で聴きたい部分だけ指定して、繰り返し再生します。

1. 再生中、繰り返し聴きたい部分の開始点で、リモコンの**A-B**ボタンを押します。
   表示窓に“**A-**”インジケーターが点灯します。

点灯

2. 繰り返し聴きたい部分の終わりで、リモコンの**A-B**ボタンを押します。
   表示窓に“**A-B**”インジケーターが点灯し、指定した部分（A点～ B点）を繰り返し再生します。

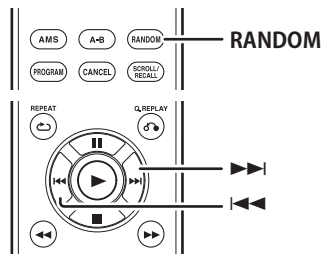
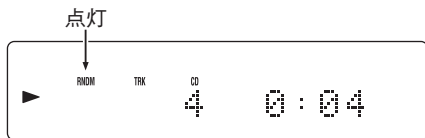
点灯

A-B リピートをやめて通常再生にするときは、リモコンの **A-B** ボタンを押して表示窓の“**A-B**”インジケーターを消します。

ご注意

ランダム再生中、A-B リピート再生はできません。

応用操作 ー音楽 CD ー

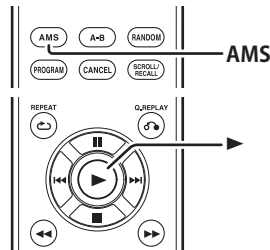
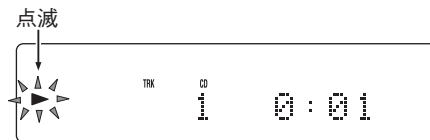
順不同で曲を再生する(ランダム再生)

無作為(ランダム)に曲順を並び変えて、順不同で全曲を再生します。リピート再生も合わせて使用すると、毎回違う曲順で再生を繰り返すこともできます。

再生中、または停止中にリモコンの **RANDOM** ボタンを押します。
表示窓の"**RNDM**" インジケーターが点灯し、ランダム再生を開始します。

ランダム再生をやめて通常再生にするときは、リモコンの **RANDOM** ボタンを押します。表示窓の"**RNDM**"インジケーターが消えます。

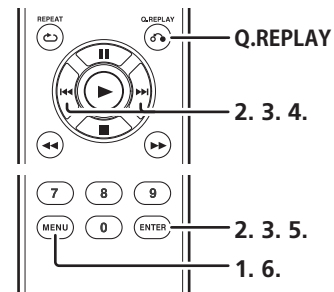
ランダム再生中にトラックスキップし、曲の頭出しをする

ランダム再生中に本機の ▶▶/▶▶| ボタンまたはリモコンの ▶▶| ボタンを押すと、次の曲を無作為に選び、再生します。
ランダム再生中に本機の |◀◀/◀◀ ボタンまたはリモコンの |◀◀ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻って再生します。

聴きたい曲を探す(AMS 再生)

聴きたい曲を探すときに便利な機能です。

停止中、**AMS** ボタンを押すと PLAY インジケーター"▶"が点滅し、1 曲目からディスク全曲の最初の 10 秒間を次々に再生します。
また、再生中に **AMS** ボタンを押すと、 PLAY インジケーター"▶" が点滅し、表示時間が約 10 秒経過したら次のトラックにとびます。

聴きたい曲が見つかったらもう一度 AMS ボタンまたは ▶ ボタンを押します。PLAY インジケーター"▶" が点灯に変わり、その曲以降を通常再生します。

再生中に少し前に戻して聴く(クイックリプレイ)

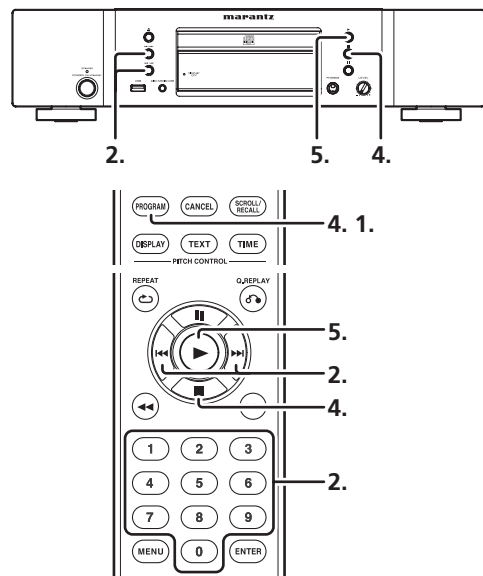
再生中に **Q.REPLAY** ボタンを押すと MENU で設定された時間だけ戻って再生します。

ご注意

トラックを越えての再生はできません。
また、再生中のトラックの総時間がクイックリプレイの設定時間より短い場合、または再生時間がクイックリプレイの設定時間より短い場合には Q.REPLAY ボタンを押すとその曲の曲頭に戻り再生します。

クイックリプレイの時間設定をするには

1. 停止中にリモコンの **MENU**ボタンを押します。
2. |◀◀、 ▶▶|ボタンで表示部に"**CD Setup =>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
3. |◀◀、 ▶▶|ボタンで表示部に"**Q Replay =>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
   ディスプレイに現在設定されている時間が表示されます。
   (お買い上げ時は、10秒に設定されています。)
4. |◀◀または ▶▶|ボタンで時間を設定します。(5秒〜60秒)
5. 設定後**ENTER**ボタンを押します。
6. リモコンの **MENU**ボタンを押して設定を終了します。

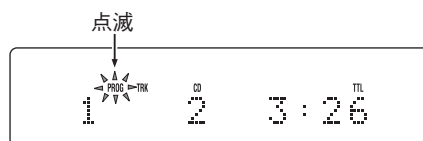
曲を好きな順番で聴く（プログラム再生）

CD の曲を好きな順番に並べ替えて聴くことができます。
最大 30 曲までをプログラム再生できます。

1. 停止中にリモコンの **PROGRAM**ボタンを押します。

メイン表示部に"**Program**"と一瞬表示します。

PROGインジケーターが点滅し、プログラムモードになります。

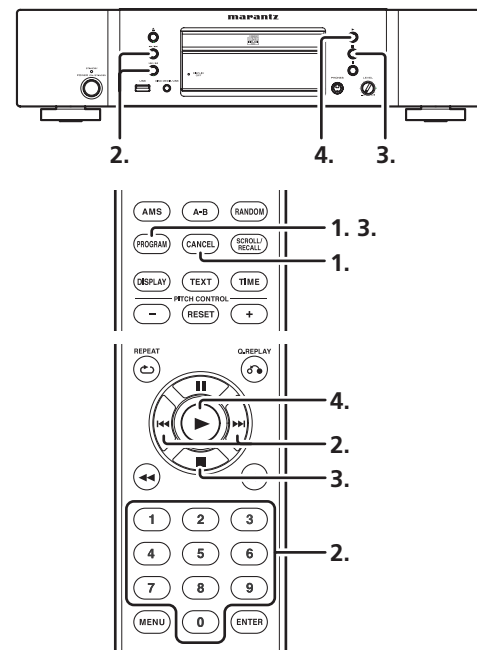
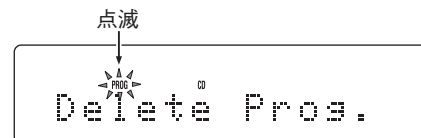
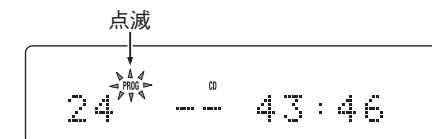
2. 曲番に合わせてリモコンの数字ボタンを押します（リモコンの ⏮ボタンと ⏭または本機の ⏮/◀◀ボタンと ▶▶/⏭ ボタンでも選択できます）。10曲目以降の曲番を選ぶときは、10の位、1の位、という順に数字ボタンを押します。

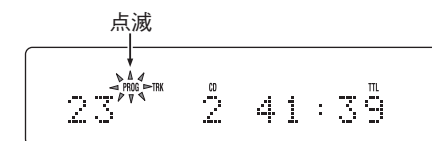
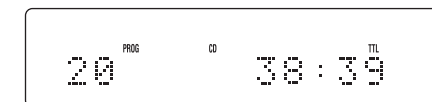
表示例：2 曲目を選んだとき

3. 手順**2.**を繰り返して、聴きたい曲を順番にプログラムします。プログラムするごとに、メイン表示部にプログラムした曲数とその合計時間が表示されます。最大 30曲までプログラムできます。

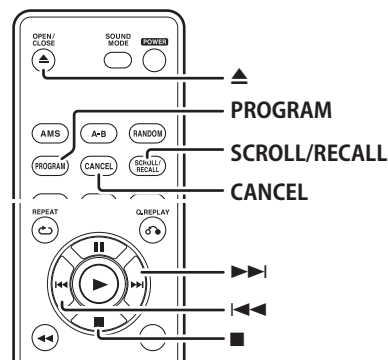
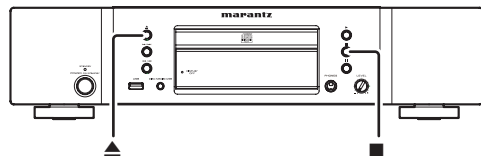
4. 全てのプログラムが終わったら、本機やリモコンの■ボタンまたはリモコンの**PROGRAM**ボタンを押します。
PROGインジケーターが点滅から点灯に変り、プログラムが確定します。

5. 本機の ▶ボタンまたはリモコンの ▶ボタンを押します。プログラムした順番に再生が始まります。
なお、手順**4.**を省略してもプログラム再生を開始します。

聴かない曲をとばして再生する（デリートプログラム再生）

聴かない曲をとばして再生することができます。
最大 30 曲まで再生する曲をプログラムから削除することができます。

1. 停止中にリモコンの **PROGRAM**ボタンを押し、続いて**CANCEL**ボタンを押します。
メイン表示部に"**Delete Prog.**"と一瞬表示します。

CDの総曲数と総再生時間がメイン表示部に表示され、**PROG**インジケーターが点滅し、デリートプログラムモードになります。

2. 聴かない曲に合わせてリモコンの数字ボタンを押します（リモコンの ⏮ボタンや ⏭ボタン、本機の⏮/◀◀、▶▶/⏭ボタンでも曲を選択できます）。

表示例：2 曲目を選んだとき

3. 手順**2.**を繰り返して、プログラムが終わったら本機やリモコンの■ボタンまたはリモコンの**PROGRAM**ボタンを押します。
表示窓の **PROG**インジケーターが点滅から点灯に変り、デリートプログラムが確定します。
最大 30曲までプログラムから削除することができます。

4. 本機の ▶ボタンまたはリモコンの ▶ボタンを押すと、削除した曲をとばして再生します。

応用操作 ー音楽 CD ー

プログラムおよびデリートプログラムの内容を確かめる

プログラム中またはプログラム再生中にリモコンの **SCROLL/RECALL** ボタンを押します。
プログラム再生ではプログラムした曲が順番に **SCROLL/RECALL** ボタンを押す毎にメイン表示部に表示されます。
デリートプログラム再生では削除した曲が順番にメイン表示部に表示されます。

プログラムおよびデリートプログラムの内容を変更する

プログラム再生でプログラムした曲を取り消す

プログラム中にリモコンの **SCROLL/RECALL** ボタンを押すとプログラムした曲が順番に表示されます。プログラムを取り消したい曲が表示されたら、すぐにリモコンの **CANCEL** ボタンを押します。

デリートプログラム再生で削除した曲を取り消す

デリートプログラム中にリモコンの **SCROLL/RECALL** ボタンを押すと削除した曲が順番に表示されます。削除を取り消したい曲が表示されたら、すぐにリモコンの **CANCEL** ボタンを押します。

プログラムの追加をする

停止中にリモコンの**PROGRAM**ボタンを押します。
表示窓の **PROG** インジケーターが点灯から点滅に変り、 プログラムが追加できます。

プログラム再生を普通の再生に戻す（プログラム全体を消す）

本機またはリモコンの ■ ボタンを、プログラム再生中なら 2 回、停止中なら 1 回押します。表示窓の **PROG** インジケーターが消灯し、プログラム全体が取り消しになります。
本機またはリモコンの ▲ ボタンを押して、ディスクトレイを開けてもプログラムを同様に取り消せます。

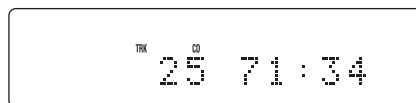
プログラム／デリートプログラム再生のご注意

- 総曲数が 10曲以上の CDで、数字ボタンを使って 1〜9曲目を選ぶ場合、前の曲番のボタンを押してから約 1.5秒以上の時間をおいて曲番の数字ボタンを押してください。
- 総曲数が 10曲以上の CDで、数字ボタンを使って 10曲目以降を選ぶ場合、10の位の数字ボタンを押してから約 1.5秒以内に 1の位の数字ボタンを押してください。
- ⏮、⏭ボタンでプログラムをする場合、希望の曲番が表示されるまでは 1.5秒以内にボタンを押してください。
- プログラムの全時間が 99分 59秒を越えると時間表示は"——: ——"になります。

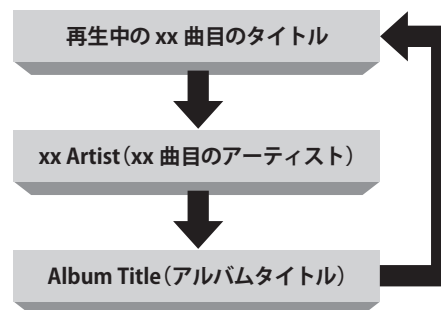
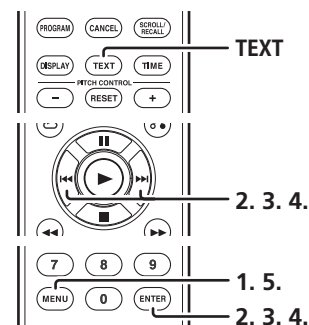
CD-TEXT について

本機では CD-TEXT の記録されたディスクの文字情報を見ることができます。
表示文字数は最大 32 文字です。

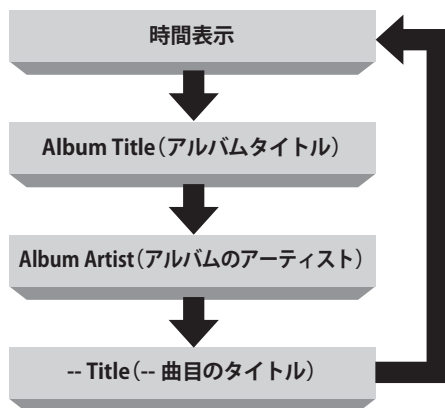
本機表示窓

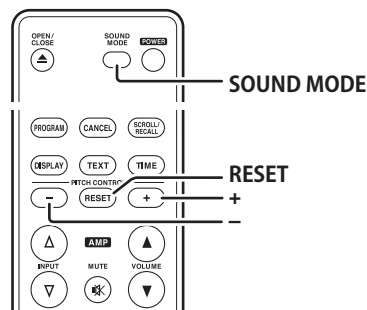
TRK CD
25 71:34

CD-TEXT ディスクの文字情報はリモコンの **TEXT** ボタンを押すことにより、下図のように表示されます。
ただし、記録されている情報はディスクにより異なりますので、全ての情報が表示されるとは限りません。

再生中

リモコンの **TEXT** ボタンを押すたびに下記の順に表示します。
主に再生中の曲の情報を表示します。

最初に表示させる情報を切り替えるには

1. 停止中にリモコンの**MENU**ボタンを押します。
2. ⏮、 ⏭ボタンで表示部に"**CD Setup =>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
3. ⏮、 ⏭ボタンで表示部に"**File Info =>**"を表示させ、リモコンの **ENTER**ボタンを押します。
4. 曲名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、"**2 Title**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
   アーティスト名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、"**3 Artist**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
   アルバム名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、"**4 Album**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
   テキスト情報を表示せずに常に時間情報を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、"**5 Time**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
5. リモコンの **MENU**ボタンを押し設定を終了します。

停止中

リモコンの **TEXT** ボタンを押すたびに下記の順に表示します。 **-- Title** 表示中に ► ボタンを押すと、そのトラックの再生を開始します。

再生スピードを変えて聴く（ピッチコントロール）

停止中にリモコンの **SOUND MODE** ボタンを何度か押し、表示に"**Audio EX OFF**"と表示させます。

音楽 CD の場合のみ、再生スピード（ピッチ）を±12 段階の範囲まで変えて聴くことができます。

ご注意

ピッチコントロール中はデジタル信号を出力しません。（ピッチコントロール設定が 0 の場合は出力します。）

再生スピードを早くする

リモコンの **PITCH ＋**ボタンを押します。
＋ボタンを押す度に再生スピードが早くなります（最大＋ 12 まで）。

```
Pitch :    12
```

再生スピードを遅くする

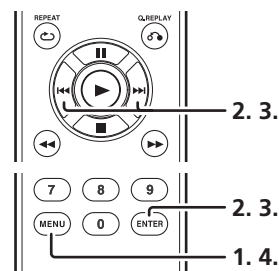
リモコンの **PITCH ー**ボタンを押します。
ーボタンを押す度に再生スピードが遅くなります（最小ー 12 まで）。

再生スピードを通常に戻す

リモコンの **RESET** ボタンを押します。
メイン表示部に"**Pitch: 0**"を表示します。
もう一度 **RESET** ボタンを押すと、設定していた再生スピードに戻ります。

デジタル出力をオフにする

デジタルアウトを使用しない場合、デジタル出力をOFF にすると、より良い音質で楽しむことができます。

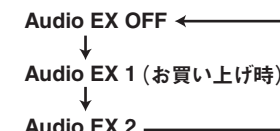
デジタルアウト オン／オフの設定をするには

1. 停止中にリモコンの **MENU**ボタンを押します。

2. ⏮、⏭ボタンで、表示部に"**DigitalOut=>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

3. デジタル音声を出力する場合は、⏮、⏭ボタンで"**1 On**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
デジタル音声を出力しない場合は、⏮、⏭ボタンで、"**2 Off**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。デジタル出力OFF時には表示部に"**D OFF**"が点灯します。
（お買い上げ時は、"**1 On**"に設定されています。）

4. リモコンの**MENU**ボタンを押し、設定を終了します。

Audio EX を切り換える

より良い音質でお楽しみいただくために、Audio EXの設定を以下の様に選択することができます。
停止中にリモコンの **SOUND MODE** ボタンを押す毎に、下図のように切り替わります。

Audio EX OFF

- **ピッチコントロール**
  使用出来ます
- **デジタル出力**
  あり（ピッチコントロール設定が0の場合）（※1）
- **ディスプレイ表示**
  あり

Audio EX 1：

お買い上げ時の設定です。Audio EX OFF より高音質でお楽しみいただけます。

- **ピッチコントロール**
  使用出来ません
- **デジタル出力**
  あり（※ 1）
- **ディスプレイ表示**
  あり

Audio EX 2：

アナログの出力音声を一番高音質な状態でお楽しみいただけます。

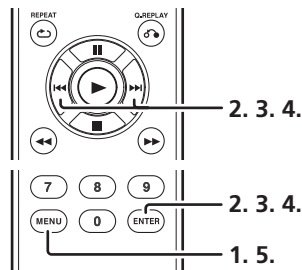
- **ピッチコントロール**
  使用出来ません
- **デジタル出力**
  なし
- **ディスプレイ表示**
  なし（再生中）（※2）

（※ 1）MENU 内の Digital Out の設定（13 ページ参照）が優先されます。

（※ 2）リモコンの **DISPLAY** ボタンを押すと ,3 秒間ディスプレイが表示されます。

応用操作 ーディスクに記録したMP3、WMA、AACファイルー

再生する範囲を選択する

再生するとき、ディスク内の全てのファイルを再生するか、またはフォルダ内のファイルを再生するかを選択することができます。

1. 停止中にリモコンの **MENU**ボタンを押します。

2. ⏮、⏭ボタンで、表示部に"**CD Setup =>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

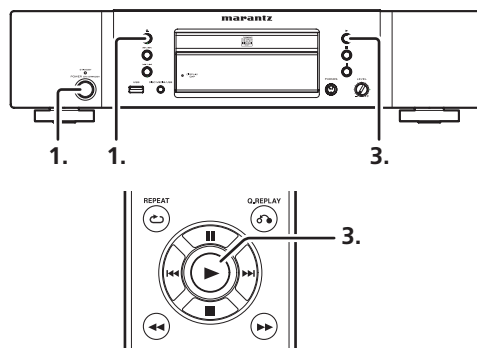
3. ⏮、⏭ボタンで、表示部に"**Range Spec=>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

4. ディスク内の全てのファイルを再生する場合は、⏮、⏭ボタンで"**1 All**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
選択したフォルダ内のファイルを再生する場合は、⏮、⏭ボタンで"**2 Folder**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
（お買い上げ時は、"**1 All**"に設定されています。）

5. リモコンの**MENU**ボタンを押し、設定を終了します。

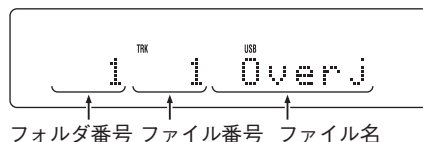
ご注意

通常再生、ランダム再生およびAMS再生は、この再生する範囲の選択により設定されたファイルを再生します。

再生する

1. 電源を入れ、ディスクトレイにCDを入れます。

2. ディスクトレイを閉めると、表示部に"**TOC Reading**"と表示した後、再生するファイル名が表示されます。

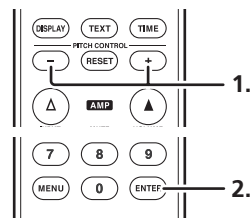
3. 本機の▶ボタン、またはリモコンの▶ボタンを押すと、再生が始まります。アンプで音量を調整します。
再生を一時停止する、再生を止める、CDを取り出すの操作は音楽CDの操作と同じです。
(7ページ参照)

フォルダ番号　ファイル番号　ファイル名

ご注意

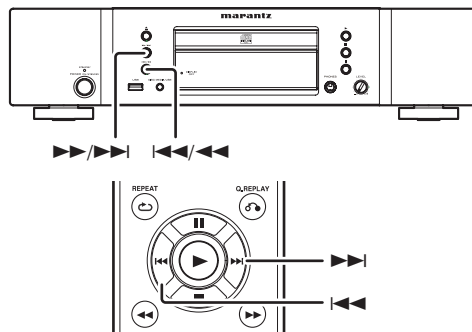
MP3、WMA、AACファイルを再生するとき、プログラム再生、ピッチコントロール等、一部の使用できない機能があります。

アドバイス

ディスク1枚あたりの再生できるファイル数は最大511で、フォルダ数は最大255です。（フォルダ数＋ファイル数の最大は512です。）

聴きたいフォルダを選ぶ

1. 停止中にリモコンの＋、－ボタンを押してフォルダを選びます。
フォルダ名が表示されます。

2. リモコンの **ENTER**ボタンを押します。そのフォルダの最初のファイル名が表示されます。

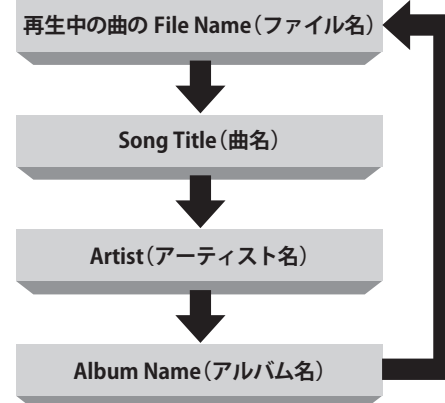
聴きたいファイル（トラック）を再生する

次のファイルに進む

進めたいファイルの数だけ本機の⏩/⏭ボタンまたはリモコンの⏭ボタンを押します。

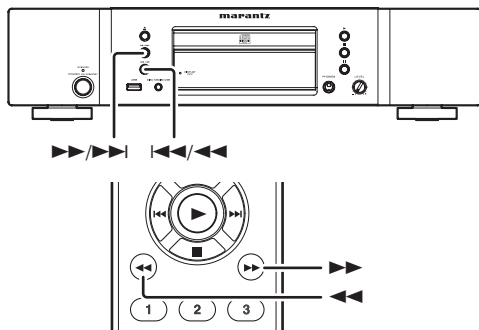
再生中のファイルの頭または前のファイルに戻る

本機の⏮/⏪ボタンまたはリモコンの⏮ボタンを押すと、再生中のファイルの頭に戻ります。さらに続けてボタンを押すと、押した回数だけ前のファイルに戻ります。

文字情報の表示について

リモコンの **TEXT** ボタンを押すたびに下記の順に表示します。再生中は主に再生中のファイルの情報を表示します。

- ファイルによっては、表示されない場合があります。
- 英数字のみ表示することができます。

ファイルの中の聴きたい部分を再生する

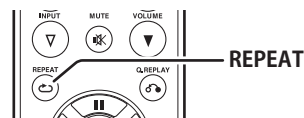
ファイルを再生中、聴きながら早送り／早戻しをして聴きたい部分を探すことができます。

再生中のファイルを早送りする

本機の ▶▶/▶▶| ボタンまたはリモコンの ▶▶ ボタンを押しつづけるとサーチ（早送り）になります。

再生中のファイルを早戻しする

本機の |◀◀/◀◀ ボタンまたはリモコンの ◀◀ ボタンを押しつづけるとサーチ（早戻し）になります。

繰り返し聴く（リピート再生）

繰り返し聴く

全ファイルリピートまたは 1 ファイルリピートで再生します。全ファイルリピートは再生する範囲の選択（14 ページ参照）により、設定されたファイルを再生します。
リモコンの **REPEAT** ボタンを押すごとに、下記の順で切り替ります。

▶ ボタンを押すと、選択したリピート再生を開始します。（9 ページ参照）

指定した部分を繰り返し聴く（A-B リピート再生）

ファイルの中で聴きたい部分だけ指定して、繰り返し再生します。（9 ページ参照）

ご注意

- ランダム再生中、A-B リピート再生はできません。
- ファイルのビットレートが低いほど、B 点の設定が出来にくくなることがあります。

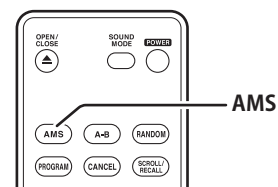
順不同でファイルを再生する（ランダム再生）

無作為（ランダム）にファイルの順番を並び変えて、順不同でファイルを再生します。リピート再生も合わせて使用すると、毎回違うファイルの順番で再生を繰り返すこともできます。

再生中、または停止中にリモコンの **RANDOM** ボタンを押します。（10 ページ参照）

ご注意

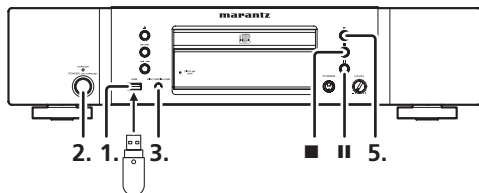
再生する範囲の選択（14 ページ参照）により、設定されたファイルを再生します。

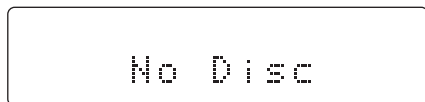
聴きたいファイルを探す（AMS 再生）

最初のファイルから順番に最初の 10 秒間を再生することができます。リモコンの **AMS** ボタンを押すと、自動的に再生開始します。（10 ページ参照）

ご注意

再生する範囲の選択（14 ページ参照）により、設定されたファイルを再生します。

応用操作（USB ／ iPod 操作）

通常再生のしかた

1. USBメディアをフロントパネルのUSB端子に差し込んでください。

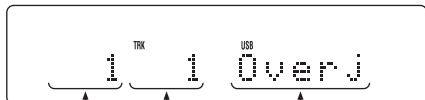
2. **POWER**スイッチを押し、電源を入れます。

No Disc

表示は "**Power On**" → "**TOC Reading**" →"**No Disc**"（ディスクが入っていない場合）の順に変わります。

3. フロントパネルの**DISC MEDIA/USB**ボタンを押します。

4. USBメディアを検出すると以下の表示を行います。

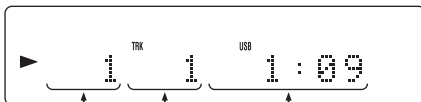
USB Reading

USBメディアのファイル情報の取得が完了すると、以下の表示に変わります。

ご注意

USB メディアが接続されていない場合、表示は"USB Reading"→"USB"の順に変わります。

USB

5. ►ボタンを押します。

メニュー内で選択されたファイル情報が表示され、時間情報を表示されます。

1000ファイルを超えた場合以下の表示に変更されます。

再生を停止するには

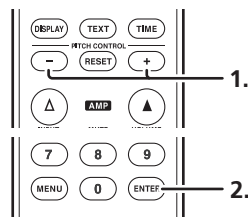
■ ボタンを押します。

再生を一時停止するには

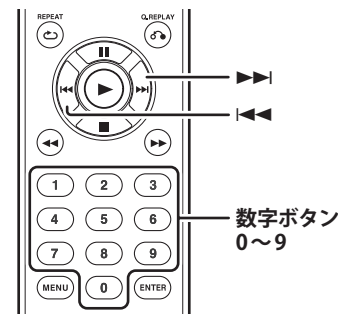
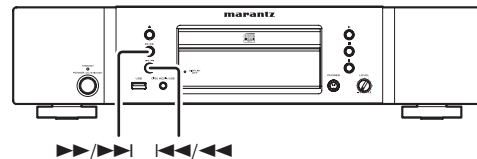
II ボタンを押します。
PAUSE インジケーター "II" が点灯し、再生はボタンを押した所で一時停止します。
再生を再開するには、再度 II ボタンを押すか、► ボタンを押します。

アドバイス

- USB メディアを再生する際、最大で8階層、700フォルダ、65,535ファイルまで再生することができます。
- マランツ製品からiPodのイコライザを操作することはできません。本機にiPodを接続する前に、iPodのイコライザを「オフ」に設定することをお勧めします。
- iPod Touchを接続する際は必ずiPod Touchのロック解除をしてください。
- Podcastのランダム再生は行えません。
- iTunes上の曲のオプション（イコライザなど）は誤動作する場合や、設定が反映されない場合があるので行わないでください。
- iPodを接続して使用中に今までと異なる動作をするようになった場合は、iPod本体のリセットをして、ご使用ください。
- 接続するiPodの機種によっては、一部動作が異なる場合があります。

別のフォルダに入っているファイルを選択する

1. 停止中にリモコンの＋、－ボタンを押してフォルダを選びます。

2. リモコンの **ENTER**ボタンを押します。そのフォルダの最初のファイル名が表示されます。

聴きたいファイルを再生する

ファイルの番号を指定して再生する（ダイレクトサーチ）

リモコンの数字ボタン（0 ～ 9）で再生するファイルの番号を指定します。
（例）
3 ファイル目：数字ボタン **3** を押す。
12 ファイル目：数字ボタン **1** を押し、続けて **2** を押します。（約 1.5 秒以内に押してください。）

数字ボタンを押し間違えたときは

存在しないファイルの番号を指定すると、この操作をする前の表示に戻ります。
もう一度、正しい数字ボタンを押します。

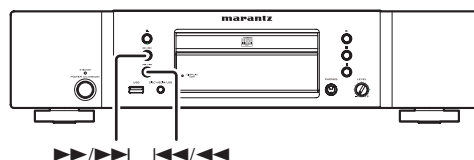
前のファイルや次のファイルを再生する（トラック スキップ）

次のファイルに進む

進めたいファイルの数だけ本機の ▶▶ / ▶▶I ボタンまたはリモコンの ▶▶I ボタンを押します。

再生中のファイルの頭または前のファイルに戻る

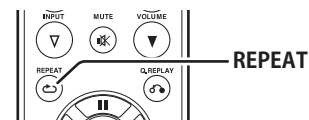
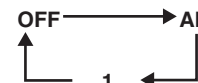
本機の I◀◀ / ◀◀ ボタンまたはリモコンの I◀◀ ボタンを押すと、再生中のファイルの頭に戻ります。さらに続けてボタンを押すと、押した回数だけ前のファイルに戻ります。

聴きたい部分を再生する(サーチ)

本機の I◀◀/◀◀、▶▶/▶▶I ボタンまたはリモコンの ◀◀/▶▶ ボタンを押しつづけるとサーチになります。

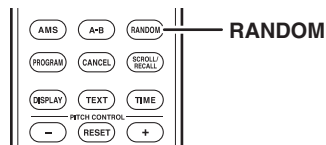
ご注意

サーチ操作中に音声は出力されません。

繰り返し聴く(リピート再生)

全ファイルリピートまたは 1 ファイルリピートで再生します。全ファイルリピートは再生する範囲の選択(18 ページ参照)により、設定されたファイルを再生します。

リモコンの **REPEAT** ボタンを押すごとに、下記の順で切り替ります。

► ボタンを押すと、選択したリピート再生を開始します。(9 ページ参照)

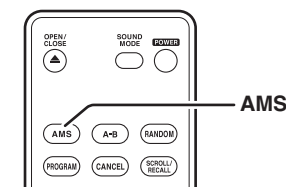
順不同でファイルを再生する(ランダム再生)

ランダムに再生することができます。

停止中にリモコンの **RANDOM** ボタンを押します。(10 ページ参照)

アドバイス

再生する範囲の選択(18 ページ参照)により、設定された曲を再生します。

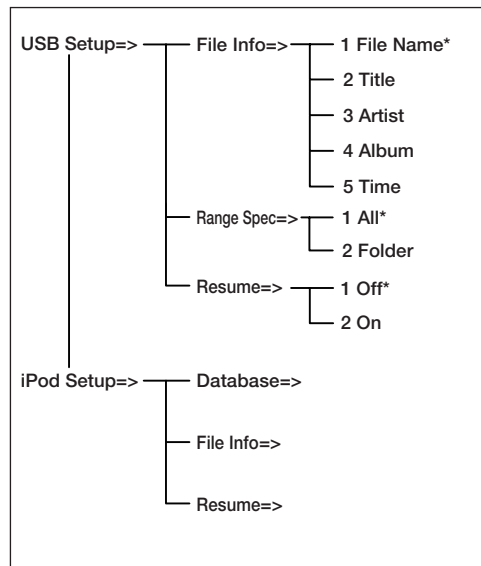
聴きたいファイルを探す(AMS 再生)

先頭から順番に 10 秒毎に再生することができます。
リモコンの **AMS** ボタンを押すと、自動的に再生開始します。(10 ページ参照)

アドバイス

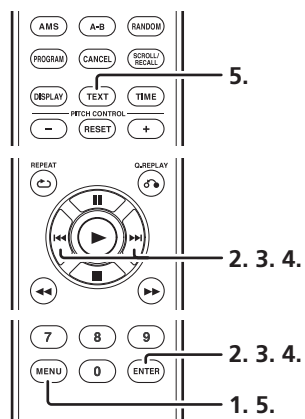
再生する範囲の選択(18 ページ参照)により、設定された曲を再生します。

応用操作（USB ／ iPod 操作）

USB メディアの操作

USB メディアの操作の階層下は下記のとおりです。

*** お買い上げ時の設定です**

ファイル情報表示の選択

USB メディアの場合、MP3 等のタグ情報を各ファイル再生時に表示することができます。

1. 停止中にリモコンの **MENU**ボタンを押します。

2. ⏮、⏭ボタンで、“**USB Setup=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

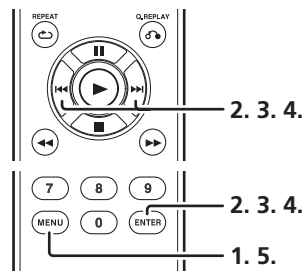
3. ⏮、⏭ボタンで、“**File Info=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

4. ファイル名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**1 File Name**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
曲名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**2 Title**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
アーティスト名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**3 Artist**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
アルバム名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**4 Album**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
ファイル情報を表示せずに常に時間情報を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**5 Time**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

5. リモコンの **MENU**ボタンを押して設定を終了します。

- 通常再生時にリモコンの**TEXT**ボタンを押すと、選択されているファイル情報が表示されます。
- 表示中に再度リモコンの**TEXT**ボタンを押すと、曲名が表示されます。選択されているファイル情報が曲名の場合、アーティスト名が表示されます。
- 表示中にリモコンの**TEXT**ボタンを押すと、曲名→アーティスト名→アルバム名→曲名と表示が変わります。

再生する範囲を選択する

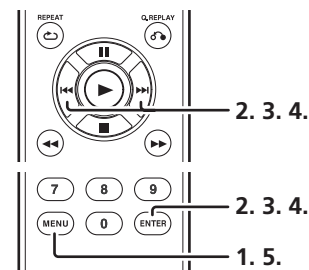
再生するとき、USB メディア内の全てのファイルを再生するか、またはフォルダ内のファイルを再生するかを選択することができます。

1. 停止中にリモコンの **MENU**ボタンを押します。

2. ⏮、⏭ボタンを何回か押し、表示部に”**USB Setup =>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

3. ⏮、⏭ボタン押し、表示部に”**Range Spec=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

4. USBメディア内の全てのファイルを再生する場合は、⏮、⏭ボタンで、表示部に”**1 All**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
選択したフォルダ内のファイルを再生する場合は、⏮、⏭ボタンで、表示部に”**2 Folder**”を表示させ、リモコンの **ENTER**ボタンを押します。
（お買い上げ時は、”**1 All**”に設定されています。）

5. リモコンの**MENU**ボタンを押し、設定を終了します。

前回停止していたところから再生をする（レジューム再生）

1. 停止中にリモコンの **MENU**ボタンを押します。

2. ⏮、⏭ボタンで、“**USB Setup=>**”または“**iPod Setup=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

3. ⏮、⏭ボタンで、“**Resume=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

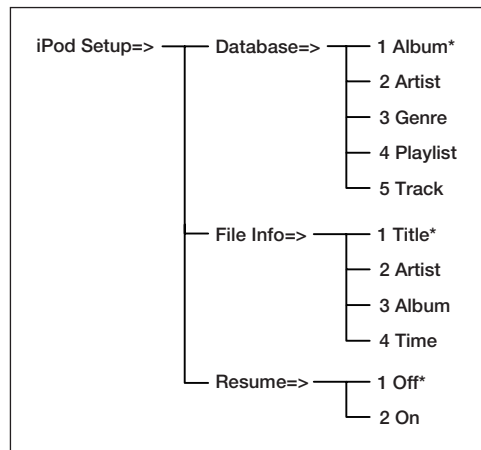
4. レジューム再生を行いたい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**2 On**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
レジューム再生を行わない場合は、⏮、⏭ボタンで、“**1 Off**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

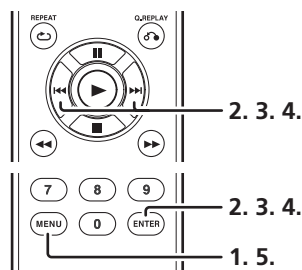
5. リモコンの **MENU**ボタンを押して設定を終了します。

ご注意

- レジューム再生は、同一のUSBメディアを挿入したときのみ有効となります。異なるUSBメディアを挿入した場合は、先頭にあるファイルから再生します。
- 同一のUSBメディアで、ファイルを追加、または削除した場合は、希望するファイルからの再生が行えない場合もあります。
- iPodでのレジューム再生は、再生していたファイルの先頭から再生されます。

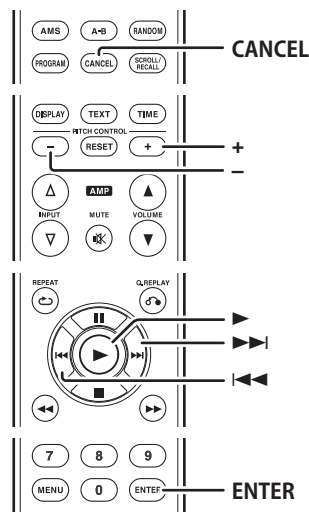
iPod の操作

iPod の操作の階層下は下記のとおりです。

＊ お買い上げ時の設定です

iPod のデータベースの選択

1. 停止中にリモコンの**MENU**ボタンを押します。
2. ⏮、⏭ボタンで、“**iPod Setup=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
3. ⏮、⏭ボタンで、“**Database=>**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
4. アルバム名で再生するアルバムを選択する場合は、⏮、⏭ボタンで、“**1 Album**”を表示させ、リモコンの**ENTER**を押します。
   アーティスト名絞り込みを行った後で、albumと同様の選択又は選択されたアーティスト全体を再生したい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**2 Artist**”を表示させ、リモコンの**ENTER**を押します。
   ジャンルで絞り込みを行った後で、artistと同様の選択を行いたい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**3 Genre**”を表示させ、リモコンの**ENTER**を押します。
   プレイリストにある曲に再生を行いたい場合は、⏮、⏭ボタンで、表示部に”**4 Playlist**”を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
   データベースを使用しないで再生を行いたい場合は、⏮、⏭ボタンで、“**5 Track**”を表示させ、リモコンの**ENTER**を押します。
5. リモコンの **MENU**ボタンを押して設定を終了します。

ご注意

各データベースでの使用方法はお持ちの iPod の取扱説明書を参照してください。

別のアーティストのファイルを選択

iPod のデータベースとしてアーティストが選択されている場合

1. ＋、－ボタンを押して、選択したいアーティストを探します。
   リモコンの **CANCEL**ボタンを押すと、選択中のアーティストが解除されます。
2. 選択したいアーティストが表示されているとき、リモコンの**ENTER**ボタンを押すと、“**All Album**”または**アルバム名**または**トラック名**が表示されます。

（All Album から選択）

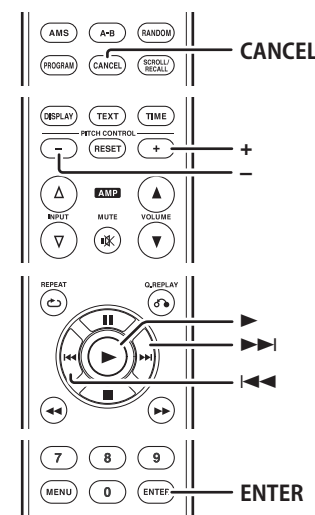
3. このとき、リモコンの **ENTER**ボタンを押すと、アーティスト内にある先頭の曲名が表示されます。
4. 選択したいファイルを ⏮、⏭ボタンで選択し、▶ボタンを押すと、ファイルを確定し、再生を行ないます。

（アルバムから選択）

3. このとき、リモコンの＋、－ボタンを押すと、アーティストのアルバム名が表示されます。
4. 選択したいアーティストが表示されているとき、リモコンの **ENTER**ボタンを押すと、アルバム内にある先頭の曲名が表示されます。
5. 選択したいファイルを ⏮、⏭ボタンで選択し、▶ボタンを押すと、ファイルを確定し、再生を行ないます。

アドバイス

アルバムまたはファイルを選択するとき、リモコンの 0 ～ 9 キーでも選択することができます。
各データベースでの使用方法はお持ちの iPod の取扱説明書を参照してください。

別のジャンルのファイルを選択

iPod のデータベースとしてジャンルが選択されている場合

1. リモコンの＋、－ボタンを押して、選択したいジャンルを表示させます。
   リモコンの **CANCEL**ボタンを押すと、現在選択作業中のデータベースが解除されます。
   選択作業中のデータベースが解除された場合は、現在選択されているトラックが表示されます。
2. 選択したいジャンルが表示されているときに、リモコンの **ENTER**ボタンを押すと、“**All Artist**”またはアーティスト名が表示されます。
3. リモコンの＋、－ボタンを押して“**All Artist**”またはアーティスト名を選択し、**ENTER**ボタンを押すと、“**All Album**”またはアルバム名が表示されます。

（All Album から選択）

4. “**All Album**”を選択し**ENTER**ボタンを押すと、選択したアーティスト内にある先頭の曲名が表示されます。

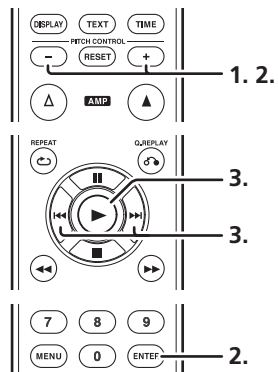
応用操作(USB ／ iPod 操作)

5. 選択したいファイルを ⏮、⏭ボタンで選択し、►ボタンを押すと、ファイルを確定し、再生を行います。

(アルバムから選択)

4. アルバム名を選択し **ENTER**ボタンを押すと、選択したアルバム内にある先頭のファイル名が表示されます。

5. 選択したいファイルを ⏮、⏭ボタンで選択し、►ボタンを押すと、ファイルを確定し、再生を行います。

別のアルバムに入っている曲を選択

iPod のデータベースとしてアルバムが選択されている場合

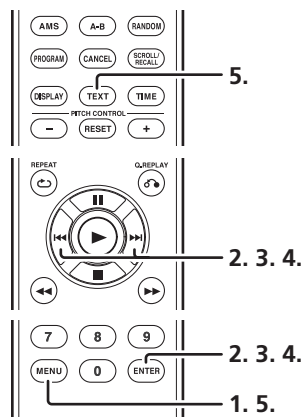
1. リモコンの+、−ボタンを押すと、現在のアルバム名が表示されます。

2. +、−ボタンを押して、選択したいアルバムが表示されているとき、リモコンの**ENTER**ボタンを押すと、アルバム内にある先頭の曲名が表示されます。

3. 選択したいファイルを ⏮、⏭ボタンで選択し、►ボタンを押すと、ファイルを確定し、再生を行います。

アドバイス

アルバムまたはファイルを選択するとき、リモコンの 0 ～ 9 キーでも選択することができます。

ファイル情報表示の選択

iPod の場合、ファイル情報をファイル再生時に表示することができます。

1. 停止中にリモコンの **MENU**ボタンを押します。

2. ⏮、⏭ボタンで、"**iPod Setup=>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

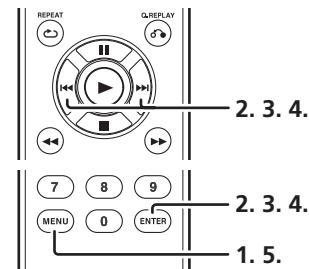
3. ⏮、⏭ボタンで、"**File Info=>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

4. 曲名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、"**1 Title**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
アーティスト名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、"**2 Artist**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
アルバム名を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、"**3 Album**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
ファイル情報を表示せずに常に時間情報を表示したい場合は、⏮、⏭ボタンで、"**4 Time**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

5. リモコンの **MENU**ボタンを押して設定を終了します。

- 通常再生時にリモコンの**TEXT**ボタンを押すと、選択されているファイル情報が表示されます。
- 表示中に再度リモコンの**TEXT**ボタンを押すと、曲名が表示されます。選択されているファイル情報が曲名の場合、アーティスト名が表示されます。
- 表示中にリモコンの**TEXT**ボタンを押すと、曲名→アーティスト名→アルバム名→曲名と表示が変わります。

iPod の操作を iPod 本体で行なう

iPod の操作をを iPod で行なうか、本機で行うか指定することができます。

1. 停止中にリモコンの **MENU**ボタンを押します。

2. ⏮、⏭ボタンで、"**iPod Setup =>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

3. ⏮、⏭ボタンで、"**iPod Ctrl =>**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

4. iPodで操作を行う場合は、⏮、⏭ボタンで、"**1 Direct**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
本機及びリモコンで操作を行う場合は、⏮、⏭ボタンで、"**2 Remote**"を表示させ、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。

5. リモコンの**MENU**ボタンを押し、設定を終了します。

ご注意

"1 Direct" に設定している場合はリモコンによる操作は Play、Pause、Next、Previous および Stop が可能です。
"1 Direct" に設定している場合に 1G Nano および 5G iPod を接続した場合、本機能に対応できないため"2 Remote"に変更されます。

困ったときは

本機が正しく動作しない場合は、下記の表に示す項目をご確認ください。
下記の項目を確認しても直らない場合は、直ちに電源コードをコンセントから抜き、お買い上げいただいた販売店、当社のお客様相談センターまたはサービスセンターにご相談ください。

全般

現象	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードを本体にしっかり差し込んでください。	6
		電源プラグをコンセントへしっかり差し込んでください。	6
音が出ない。 または、歪む。	出力ケーブルがしっかり接続されていない。	出力ケーブルを本機およびアンプにしっかり差し込んでください。	6
	本機のアナログ出力がアンプの PHONO 入力端子に接続されている。	アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。	6
	アンプの操作が間違っている。	アンプの入力切替、音量調節およびスピーカーの設定を確認してください。	6
	本機の再生が一時停止になっている。	再生ボタンを押してください。	7
ヘッドホンをつないでも音が出ない。または、歪む。	ヘッドホンジャックがしっかり接続されていない。	ヘッドホンジャックを本機にしっかり差し込んでください。	4
	ヘッドホンレベルが最小になっている。	ヘッドホンレベルを調整してください。	4
デジタル音声が出力されない。	デジタルアウトの設定がオフになっている。	デジタルアウトの設定をオンにしてください	13
	AUDIO EX の設定が 2 になっている。	AUDIO EX の設定を 1 にしてください。	13
リモコンで本機の操作ができない	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。	3
	リモコンの動作範囲から外れている。	リモコンの動作範囲を参照して、動作範囲でご使用ください。	3
	本機とリモコンの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	3
	本機の受光部に強い光が当たっている。	受光部に強い光が当たらないようにしてください。	3
	後面の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを EXETRNAL に設定している。	EXTERNAL/INTERNAL スイッチを INTERNAL に設定してください。	6､8

ディスクの再生

現象	原因	処置	参照ページ
ディスクを入れても再生できない。	ディスクがトレイの正しい位置に入っていない。	ディスクを正しくのせてください。	7
	ディスクが裏表さかさまに入っている。（ディスクの印刷面が下になっている）	ディスクの印刷面を上にしてトレイにのせてください。	7
	ディスクが汚れている。	ディスクの表面をきれいにしてください。	26
	ディスクに傷がついている。	傷が多いディスクの場合、再生できないことがあります。	26
	ディスクが反っている。	ひどく反ったディスクの場合、再生できないことがあります。	26
	本機が対応していないディスクを再生しようとしている。	本機が対応しているディスクを使用してください。	23､24
	本機内部のレンズが結露している。	本機の電源を入れて 30 分位待ってから使用してください。	2
CD-R/CD-RW ディスクが再生できない。	ディスクのファイナライズがされていない。	ディスクに書き込むためのソフトウェアを使って、ファイナライズしてください。	24
	記録されている情報が音楽用（CD-DA）フォーマットではない。または MP3／WMA／AAC ファイルが正しく記録されていない。	本機に対応した正しい情報を記録してください。	24

困ったときは

USB の再生

現象	原因	処置	参照ページ
表示部に“OverCurrent”と表示される。	本機の USB 端子の過電流保護が働いた。	未対応の USB デバイスです。動作負荷電流 500mA 以下のものをご利用ください。	–
表示部に“FAT Error”又は“Cluster Err”と表示される。	未対応のファイルシステムを使用しています。または 128MB 以下の USB メモリは対応できません。	対応するファイルシステム（FAT32 または FAT）でフォーマットされた、256MB 以上の USB デバイスをご利用ください。	24
表示部に“No File”と表示される。	本機で再生可能なファイルが存在しません。	対応フォーマットをご確認ください。	23、24
表示部に“DRM Stream”と表示される。	デジタル著作権管理されているファイルです。	本機で対応しいないデジタル著作権管理されているファイルのため再生出来ません。	23
表示部に“Can'tConnect”と表示される。	本機が認識できないデバイスを接続している。	USB マスストレージクラスに対応した USB デバイスであっても、本機で再生できないものがあります。（故障では有りません）	24
USB デバイスの読み込みに時間がかかる。	フォルダ数およびファイル数が多い場合は読込みに時間がかかります。	読み込みが完了するまでお待ちください。	–
音が出ない。または歪む。	USB 延長ケーブルを使用している。	USB 延長ケーブルは使用しないでください。	8
	ディスクメディアを再生するモードになっている。	DISC MEDIA/USB ボタンを押して、USB デバイスを再生するモードに切り替えてください。	16
	USB デバイスが本機にしっかり接続されていない。	USB デバイスを本機にしっかり接続してください。	8、16
	USB デバイスが壊れている。	USB デバイスを交換してください。	–
	USB ハブ経由で接続している。	USB ハブを経由して接続しないでください。	8

iPod の再生

現象	原因	処置	参照ページ
接続しても再生できない。	iPod が操作可能な状態でない時に接続した。	iPod が操作可能な状態の時に本機と接続してください。	–
音が出ない。	第 5 世代以前の iPod には未対応です。	“iPod の再生について”を参照してください。	24

その他

WMA の再生について

- Windows Media は、米国MicrosoftCorporationの米国およびその他の国における商標です。
- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9Seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル 1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- DRM コピープロテクトのかかった WMAファイルは再生できません。
- WMAファイルは、米国MicrosoftCorporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 文字情報は、タイトル、アーティスト名およびアルバム名を表示します。
- 文字情報は、日本語表示に対応していません。英数字をご使用ください。

Windows Media DRMについて

Windows Media デジタル著作権管理（DRM）(以下、WMDRM）は、コンピューター、デジタルオーディオプレーヤー、ネットワーク機器などの再生を防いだり、デジタルコンテンツを安全に配信するためのプラットフォームです。

WMDRM で保護されたコンテンツは WMDRM の機能を有するメディアサーバーと接続したときのみ再生できます。

本機は WMDRM で保護されたコンテンツに対応していません。

WMA ファイル

規格	Microsoft Windows Media Audio 9.2 準拠 以下は対応外 • WMA9 シリーズ Professional • WMA9 シリーズ Voice • WMA9 シリーズ Lossless • Video 有り WMA
拡張子	.wma
ビットレート [kbps]	ディスクメディア：48 ～ 192 USB メディア：48 ～ 320
サンプリング周波数 [kHz]	44.1
チャンネル	2ch（Stereo）

MP3 の再生について

- ISO9660レベル 1/レベル 2の CD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3のファイルで本機指定のサンプリング周波数以外で記録されたファイルは“No File”と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR：Variable Bit Rate）には対応していません（再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします）。
- 音質的には、記録ビットレート 128kbps以上をお勧めします。
- 文字情報は、タイトル、アーティスト名およびアルバム名を表示します。
- 文字情報は、日本語表示に対応していません。英数字をご使用ください。

MP3 ファイル

【ディスクメディア】

規格	MPEG-1 Audio Layer3
拡張子	.mp3
ビットレート [kbps]	MPEG-1 Audio Layer3 の場合 32 ～ 320
サンプリング周波数 [kHz]	MPEG-1 Audio Layer3 の場合 32 / 44.1 / 48
チャンネル	2ch（Stereo）
エンファシス	OFF

AAC の再生について

- AACとは「Advanced Audio Coding」の略です。MPEG-2およびMPEG-4で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- 本機では、iTunes®を使用してエンコードされた、拡張子が「.m4a」のAACファイルの再生に対応しています。ただし、DRMコピープロテクト（著作権保護）のかかったファイルやエンコードする iTunesのバージョンによっては再生できないことがあります。
- iTunesは、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iTunesで作成されたファイルが対象です。
- 文字情報は、タイトル、アーティスト名およびアルバム名を表示します。
- 文字情報は、日本語表示に対応していません。英数字をご使用ください。

規格	MPEG-4/AAC LC（Low Complexity）
拡張子	.m4a
ビットレート [kbps]	8 ～ 320
サンプリング周波数 [kHz]	32/44.1/48
チャンネル	2ch（Stereo）

WAV の再生について（USB メディアのみ）

- WAVファイルは、作成に使用したソフトウェアによっては再生できないことがあります。

規格	RIFF Waveform Audio Format
フォーマット	リニア PCM
拡張子	.wav
サンプリング周波数 [kHz]	リニア PCM：PCM32/44.1/48 上記以外は対応外
ビット数 [bit]	リニア PCM：16
チャンネル	2ch（Stereo）
文字情報	なし

その他

iPod の再生について

- iPod対応モデル
  Made for
  - iPod touch
  - iPod classic
  - iPod with video
  - iPod nano（4th generation）
  - iPod nano（3rd generation）
  - iPod nano（2nd generation）
  - iPod nano（1st generation）
- 接続するiPodの機種によっては、一部動作が異なる場合があります。
- iPodのソフトウェアが古いと正常に動作しないことがあります。必ず最新のiPodソフトウェアでお使いください。
- TEXT表示は英数字のみとなります。英数字以外の文字がiPodに記録されている場合、その文字は「＊」で表示されます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 本機からiPodのイコライザを操作することはできません。本機にiPodを接続する前に、iPodのイコライザを"オフ"に設定することをお勧めします。
- iPodの"クリック音"は"オフ"または"スピーカー"に設定することをお勧めします。
- 本機とiPodを組み合わせてご使用の際、iPodのデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- iPodで再生可能なファイル（AAC、MP3、Appleロスレス、WAV、AIFF）であれば本機で再生可能です。
- "Made for iPod"とは、特にiPodとの接続用に設計され、Appleの性能基準を満たすことをその開発者が保証している電子機器であることを示します。この機器の操作、および安全・規制基準の順守については、Appleは責任を負いません。

iPodは、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

本機では従来のオーディオCDやCD-R（Recordable）に加え、CD-RW（ReWritable）ディスクの再生も可能です。

- CD-RやCD-RWの再生では必ずTOC*が正しく記録されていることが必要です。CDレコーダーではTOC情報を書き込むことをファイナライズ（Finalize）といい、この作業が正常に完了していないディスクは、普通のCDプレーヤーやスーパーオーディオCDプレーヤーではオーディオCDとして正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくはCDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
  * TOC（トック）とはTable Of Contentsの略で、ディスクの総曲数や総演奏時間などの目次情報のことです。
- 本機は音楽CDフォーマット、WMA/MP3/AACの音楽データが記録されたCD-R/CDRWディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RW ディスクに録音することはできません。
- CD-RWディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、オーディオCDやCD-Rに比べTOCの読み込みに若干時間がかかることがあります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ミックス・モードCD／エンハンスドCDやDTS CDディスクを再生することはできません。

コピーコントロール CD（コピーガード付 CD）について

コピーコントロールCD（コピーガード付CD）は、現在のCD規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としましては、お客様のCD再生機器による再生の状態を保証致しかねます。
通常CDを用いての再生時には支障なく再生ができ、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましてはお客様のCD再生機器の不具合ではございません。
なお、コピーコントロールCDに関する詳細につきましてはコピーコントロールCDの発売元にお問い合わせ戴きますようお願いいたします。

DualDisc の再生について

- "DualDisc"は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- "DualDisc"の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

USB メディアについて

- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続して音楽ファイルを再生することはできません。本機が対応しているUSBメモリー（FAT16、FAT32フォーマットに対応）などのUSBマスストレージクラスに属する機器です。
- 本機ですべてのUSBメモリーの再生、および電源の供給を保証できない場合があります。また、本機と接続したことで、USBメモリーのファイルが万が一損失した場合、当社では一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。

仕様

オーディオ特性

チャンネル……2チャンネル
周波数特性……2 Hz〜20 kHz
ダイナミックレンジ……100 dB
S／N比（A-Weighted）……110 dB
チャンネルセパレーション（1 kHz）……110 dB
高調波歪率（1 kHz）……0.002 %
ワウフラッター……水晶精度
音声出力……2.35 V RMSステレオ
ヘッドフォン出力（可変最大）……18 mW／32 Ω
デジタル出力
　同軸出力（ピンジャック）……0.5 Vp-p, 75 Ω
　光出力（角型光コネクター）……-19 dBm

光学読み取り方式

レーザー……AlGaAs 半導体
波長……780 nm

信号方式

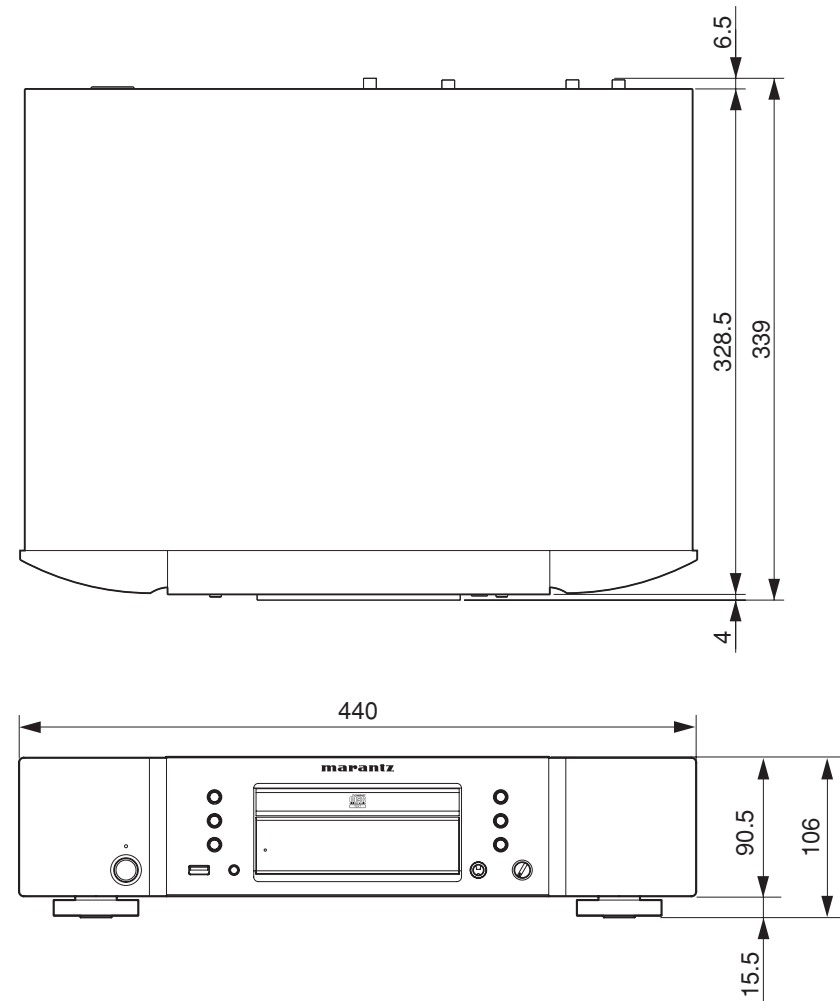
サンプリング周波数……44.1 kHz
量子化対応……16ビット･リニアPCM

電源部

電源……AC 100V 50／60Hz
消費電力（電気用品安全法）……19 W
待機消費電力……0.3 W

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することが ありますのでご了承ください。

外観寸法図

（単位：mm）

質量：6.6 kg

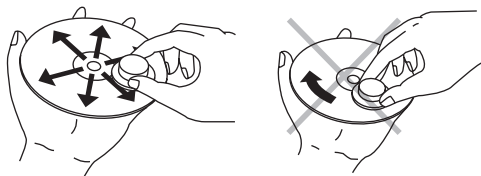
CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

各部の名称
基本接続
基本操作
応用接続
応用操作
困ったときは
その他

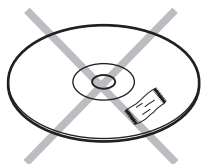
ディスクの取扱い方

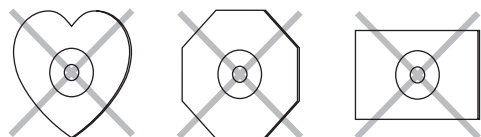
＊ ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

＊ ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。

- 放射状方向にふいてください。
- 円周方向には、ふかないでください。

＊ ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

＊ 特殊な形のディスクは使用しないでください。

ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。

＊ ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。

CD 規格外ディスクを使用された場合には、再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。

＊ ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

＊ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。

お手入れ

- セットが汚れた時は柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどい時は食器用洗剤を 5〜6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

セット内部の修理

- 注油しますと故障の原因になりますのでさけてください。
- 専門知識を持つ技術者以外の方は、ピックアップ部分及びセット内部の修理は行わないでください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。
ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ヘッドホンのご使用について

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎないようご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

著作権について

- 放送や、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カセット、オーディオCDなど）、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。
  したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
   お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」致します。
3. 保証期間経過後の修理について。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または当社サービスセンターに遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“困ったときは”をご参照の上よくお調べください。それでも直らない時は、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1) 品名	**CD プレーヤー**
2) 品番	**CD6003**
3) シリアルナンバー（製造番号）	
4) お買い上げ日　年　月　日	
5) 故障の状況（できるだけ具体的に）	
6) ご住所	
7) お名前	
8) 電話番号	